



Rally 飛鳥 2026

Driver: TAKUMI IWAHORI
Team: 一六RACING

Co-driver: TAKAHIRO AIBARA
Car: GR YARIS

Date: 2026/5/8~5/10

2026年 全日本ラリー選手権 第3戦「ラリー飛鳥」に参戦しました。

舞台となった奈良県天理市周辺のターマック(舗装路)ステージは、今年も新しいコースや距離が延長された区間が多く設定され、非常に難易度の高いラリーとなりました。レッキ(下見)でどれだけ情報を集め、正確にペースノートへ落とし込めるかが重要となる一戦でした。

しかし今回のラリーは、初日SS1でクラッシュが発生し、リタイアという悔しい結果となりました。

スタート直後のステージということもあり、自分たちとしては序盤からしっかりリズムを作っていきたいという気持ちが強くありました。その中で、ペースノートのタイミングやリズムにズレが生じ、状況を立て直せないまま走り続けてしまったことが、今回の結果に繋がったと感じています。

今回のクラッシュは、単純に「攻めすぎた」「スピードを出しすぎた」というだけではなく、ドライバーとコ・ドライバーのコミュニケーション、判断、リズムなど、さまざまな要素が重なって起きたものでした。

だからこそ、ただ反省するだけではなく、「なぜそうなったのか」をチーム全体でしっかり整理し、改善へ繋げることが大切だと考えています。

ラリー終了後には、チーム全体でミーティングを行い、オンボード映像を見返しながら、ペースノートの情報量や読み方、タイミングなどを一つずつ確認しています。今後は、リズムが崩れた際の立て直し方や、状況に応じて冷静に判断する力をさらに高めていきたいと思っています。

結果としては非常に悔しいリタイアとなりましたが、この経験は無駄にはしたくありません。

完走することはもちろん、その上でしっかり戦える力を身につけるために、今自分たちに足りない部分と向き合いながら、一つずつ成長していきます。

今回も現地やSNSを通じて、多くの応援・サポートを本当にありがとうございました。

悔しい結果にもかかわらず、たくさんのメッセージや声をいただき、大きな力になっています。

次戦では、今回の経験をしっかり次へ繋げ、成長した姿をお見せできるようチーム一丸となって取り組んでいきます。

